

大阪市経済戦略局産業振興部
 産業振興課（農業担当）
 大阪市住之江区南港北2-1-10
 ATCビル オズ棟 南館4階
 TEL 06 - 6615 - 3751
 FAX 06 - 6614 - 0190



Osaka City
 farmers
 大阪市農業だよりVol.6

農業を体験してみよう！ を実施しました（田植え体験）



本市では、大阪市内の親子を対象に、農業体験を全2回実施予定です。

第1回目は、7月14日（日）にJA大阪市の協力のもと、田植え、寄せ植え体験を実施しました。

参加者からは、「足元の不安定な中、稲を植えることの大変さや、お米の生産方法について学べて貴重な体験になった。」や、「もっとたくさん植えたかった。」といったお声をいただきました。

住吉区花き生産者からご提供いただいた10数種類の花を使用した寄せ植え体験でも、「興味を持って自分で選んだお花なので愛着もあり、枯らさないように大切に育てたい。」と、たいへん好評でした。

第2回目は11月に開催予定で、内容は稲刈り、大阪市なにわの伝統野菜の収穫体験等を予定しています。

「大阪市認定農業者制度」を創設しました

令和元年6月に、農業経営基盤強化促進法に基づき、地域の実情に応じて、効率的・安定的な農業経営の目標を示した「大阪市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」を策定しました。農業者がこの目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、**今後概ね5年間に於いて経営の改善を進めようとする計画「農業経営改善計画」を作成し、この計画を本市から認定された方が「認定農業者」となります。**

また、新たに農業を始める人（新規就農者）が**今後概ね5年間の「青年等就農計画」を作成し、この計画が本市から認定されると「認定新規就農者」**になります。

認定されると、国などの支援策が受けられる場合があります。

※随時「認定農業者」及び「認定新規就農者」の申請手続きを受付けております。

主な支援策

●スーパーL資金

日本政策金融公庫から長期・低利で借り入れられる資金です。

●農業者年金の保険料補助

青色申告を行った場合、国庫補助を受けられます。

●農業近代化資金

設備、機械の導入を目的に、長期かつ低金利で資金借入が可能です。

農地パトロール を実施しています

農地の利用状況を調査するため、農地法第30条に基づき「農地パトロール」を市内全農地を対象に毎年実施しています。
ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【農地が適切に管理されていないと…】

- ・周辺の農地や近隣住民の方などに迷惑がかかります。
- ・税制面での優遇が打ち切られることがあります。
- ・生産緑地や特定生産緑地の指定を受けられない場合があります。

【実施時期】

6月～7月（再パトロール10月頃）



特定生産緑地 説明会・受付会を開催

本市では、現在、平成4年度に指定された生産緑地について、JA大阪市の本店・支店をお借りして、説明会と申請受付会を開催しました。

説明会では、申請書の書き方や必要な書類についてご説明しました。また、申請書の受付も行いました。

同様の説明会・受付会を今後も実施する予定ですので、申請のお済みでない方は、ぜひご利用ください。

平成4年度に指定された生産緑地の特定生産緑地申請の締め切りは

令和3年5月31日

です。

なお、経済戦略局の窓口では、随時、申請の受け付け、お電話でのお問い合わせを承っております。



大阪市なにわの伝統野菜の魅力について

「大阪市なにわの伝統野菜」は、100年以上前から大阪市で栽培されていたという文化的な背景を持ち、昨今では薄れてしまった季節を感じさせる野菜です。

生鮮野菜の販売のみならず、漬物やお菓子などの加工品も大阪のお土産として親しまれています。また、レストランメニューの素材として利用され、地元野菜としても人気があります。

本市で長年、大阪市なにわの伝統野菜を栽培してきた、大阪市なにわの伝統野菜生産者協議会会長の松本 皓市さんに伝統野菜の魅力について、お話をお伺いしました。

市：「松本さんの考える伝統野菜の魅力とはこういったところにあるでしょうか。」

松本：「伝統野菜は昔から栽培されてきた原種なので、見た目も味もしっかりしているという魅力がある。また栄養も繊維も豊富であるため、健康にも良く、煮物やおでんにしても煮崩れしづらい。特に勝間南瓜（こつまなんきん）は2回の作付けが可能で、夏と秋とで2度収穫できる。」

市：「2回作付けが可能であることについて初めて知りました。」

松本：「マルチでも、不織布ではなく、昔ながらの稲わらを使うなど、こだわりをもって栽培している。試行錯誤を繰り返してきたことで、2回収穫できることを発見した。今後もっと良いところを見つけられるよう、頑張っていきたい。」

市：「今後についてお聞かせください。」

松本：「伝統野菜の美味しさをより多くの人に知ってもらうためにも、今後も試行錯誤を繰り返しながら、こだわりをもって栽培を続けていきたい。」

本市においても引き続き、大阪市なにわの伝統野菜の振興に努めていきます。伝統野菜について、ご不明な点等がございましたら、本市担当までお問い合わせください。

【市内で「なにわの伝統野菜」の 種苗を購入できる店】

- 赤松種苗 (06-6771-4560)
大阪市天王寺区堀越町11-11
- (株) フジイシード (06-6306-1070)
大阪市淀川区十三東2-12-38
- 藤田種子 (株) (06-6445-2401)
大阪市西区京町堀2-6-28

「大阪府HPより」



(1回目の収穫を迎える勝間南瓜)

2020年農林業センサスが実施されます



農林水産省では、令和2年2月1日現在で、「2020年農林業センサス」を実施します。この調査は、我が国の農林業・農山村地域の実態を明らかにする最も基本的な調査です。

令和元年12月中旬から調査員が農林業関係者の方々を訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いします。

調査票に記入された事項については、統計以外の目的には使用されませんので、ご協力をお願いします。

～編集後記～

梅雨も明け、夏らしい天気が続いておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。私は南大阪の実家で兼業で農業もしています。最近田で、ある害虫を見かける機会が増えました。

それはジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）という外来生物で、稲の苗や柔らかい草を食べ、田植直後の苗に被害を与えるため、要注外来生物にも指定されています。

写真のように、稲の茎や葉の付け根に赤色の卵を植え付ける特徴がありますので、見つけましたら、下記のように対処ください。

【対処・防除対策】

- 卵は水中に掻き落とす。（卵は水中に落ちると死にます。）
- 稲刈り後、耕うんし、貝をつぶす。（貝は土中で越冬します。）

他にも、大阪府HP (<http://www.jppn.ne.jp/osaka/>)

にて防除対策を公開しておりますので、ご確認ください。

(経済戦略局農業担当 澤野)



～農業者年金加入の ごあんない～

農業者年金 6つのポイント！

- ① 農業者なら広く加入できる
- ② 少子高齢時代に強い積立方式・確定拠出型の年金
- ③ 保険料は自由に選択できる
- ④ 終身年金
(80歳前に亡くなった場合には死亡一時金あり)
- ⑤ 税制面で大きな優遇
- ⑥ 保険料の国庫補助
(※要件あり)

経営とくらしに役立つ 農業総合専門紙



◆毎週金曜日発行（月4回）

◆購読料（送料、税込み）

年額 8,400円

月額 700円

お申し込みは

大阪市経済戦略局

産業振興課(農業担当)まで

8.1 調査

を実施しています！

大阪市では、毎年、所有されている自作地や耕作地（小作地）などの状況について、調査を行っています。市内各農家の方へ申告書を郵送しておりますので、ご提出をお願いいたします。

集計結果につきましては、大阪市ホームページで公表しております。



本紙面に関するお問合せは、

大阪市経済戦略局 産業振興部 産業振興課(農業担当) 電話 06-6615-3751 まで